

人材育成に係る各府省の意見

人事院研修調整課が、平成19年7月～10月の間、各府省の人事・研修担当者（課長補佐級）と人材育成の問題点や取組などについて議論を行った際、各府省から提出された主な意見をまとめると以下のとおり。

○人材育成における問題点

- ・業務量過多ゆえ、若手職員の育成が困難。
- ・若手職員に対して、ロールモデルを示すことやモチベーションを維持させることが困難。
- ・OJTでは、事務処理能力は高まるが、問題解決能力が高まっていないのが現状。

○人材育成のために改善すべき点

- ・OJTに着目した指導者育成を行うべき。
- ・職員に対して教えるべきことの体系化を進めることが必要。
- ・人事と研修を一体で考え、ポストと研修を結びつけることにより職業意識を高める。研修と配置を人材育成の観点から捉えることが必要。
- ・忙しくて集合研修を行えなくなっており、職員にとって研修を受けやすい環境を作るべき。

○人材育成に関する最近の取組

- ・経験を伝えるために、マニュアル等を作成。
- ・政策立案の上で必要なスキルや知識を体系化し、OJTや研修の中で、いかにして提供できるのか検討。
- ・組織文化の継承の場を作るため、局長が昼休みに自室に職員10人程度を集め、自分の若い頃の経験を語り、議論。
- ・先輩職員をメンターに位置付け、若手職員を支援。

以 上